

令和元年度の一般会計決算を、令和2年第3回議会定例会に提出し、議会の認定を受けました。

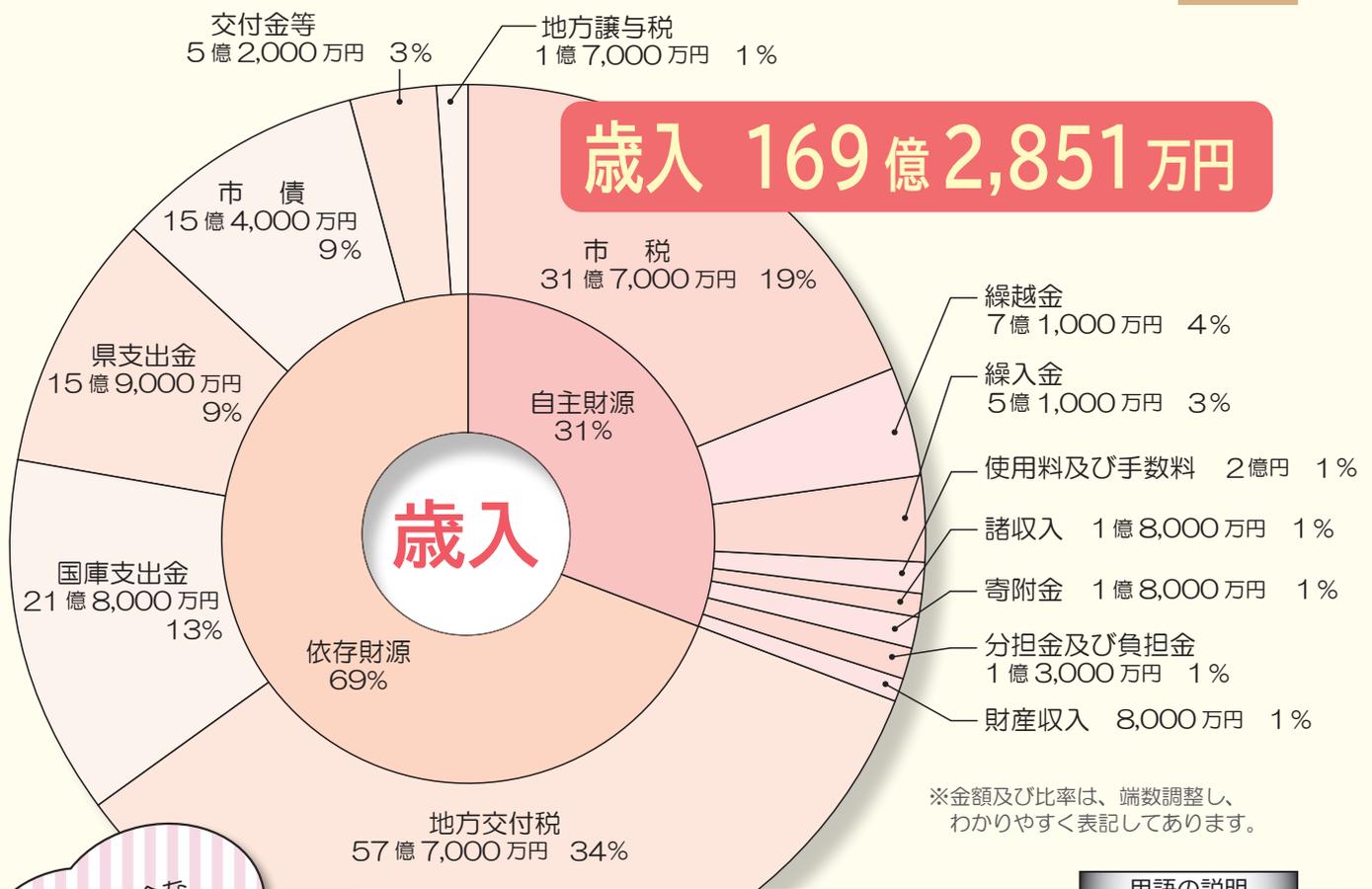
一般会計の決算の規模は、歳入 169 億 2,851 万円、歳出 160 億 2,398 万円です。歳入と歳出の差引き額は、9 億 453 万円です。これには、翌年度に繰り越すべき財源の 4 億 700 万円が含まれていますので、これを除いた実質収支は、4 億 9,753 万円となります。

また、実質単年度収支は、△ 1 億 6,160 万円となっています。

今後も健全な財政運営に努めていきます。

伊佐市の 財政状況

令和元年度決算
一般会計



今後も健全な
財政運営に努めます。

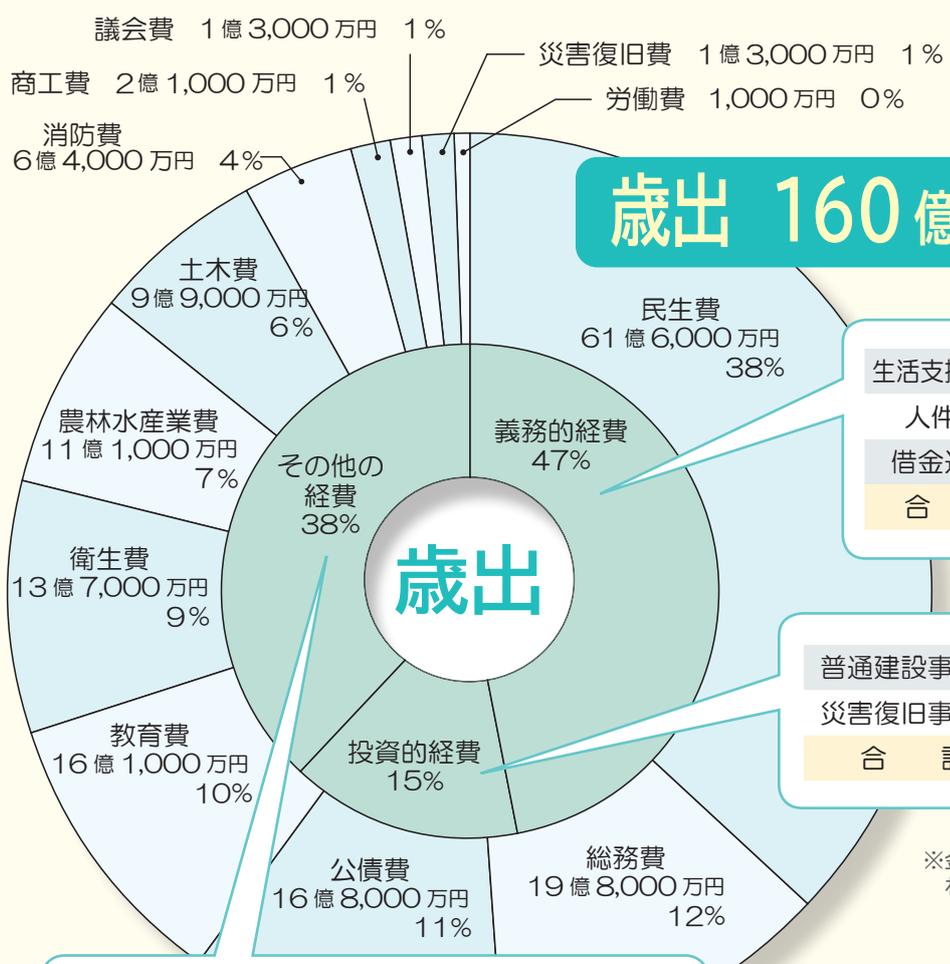


用語の説明

- 自主財源** 地方公共団体が自主的に収入できる財源。
- 依存財源** 国や県から定められた額を交付される財源。
- 地方交付税** 所得税や法人税などの国税の一部について、地方自治体間にある財源の不均衡を調整し、国民が受ける基本的な行政サービスが住む場所によって差のないようにするため、地方公共団体の財政状況に応じて交付されるお金。国から地方への「仕送り」といわれている。
- 市債** 財源不足を補うため、国・県や民間の金融機関から借りるお金。
- 国庫・県支出金** 市が行う特定の事務や事業に対して、必要な費用の財源として国・県から交付されるお金。
- 実質収支** 単年度の収入と支出の差額から、翌年度に繰り越すことが決まっている財源を差し引いたもの。
- 実質単年度収支** 財政調整基金（将来に備える貯金）の増減を見る指標。



歳出 160億2,398万円



生活支援経費	37億6,000万円
人件費	20億6,000万円
借金返済	16億8,000万円
合計	75億円

普通建設事業費	23億9,000万円
災害復旧事業費	6,000万円
合計	24億5,000万円

※金額及び比率は、端数調整し、わかりやすく表記してあります。

物件費	19億3,000万円
国保会計等への繰出金	16億9,000万円
補助費等	9億6,000万円
一部事務組合（未来館等）	8億3,000万円
積立金	4億6,000万円
維持補修費	1億3,000万円
投資・出資金・貸付金	7,000万円
合計	60億7,000万円

用語の説明

義務的経費 市の借金や人件費・扶助費（生活支援経費）など、支出しなければならない経費。

投資的経費 道路建設などのように、社会資本の形成に向けられる経費。

公債費 これまで借り入れた市債などの返済に係る経費（借金返済）。

市民一人あたりのサービス内訳



(総額: 631,910円)
基準 R2.03.31 時点の
25,358人で算定

民生費 242,986円

総務費 78,008円

公債費 66,407円

教育費 63,388円

衛生費 54,045円

農林水産業費 43,600円

土木費 38,850円

消防費 25,257円

商工費 8,511円

議会費 5,277円

災害復旧費 5,254円

労働費 327円